

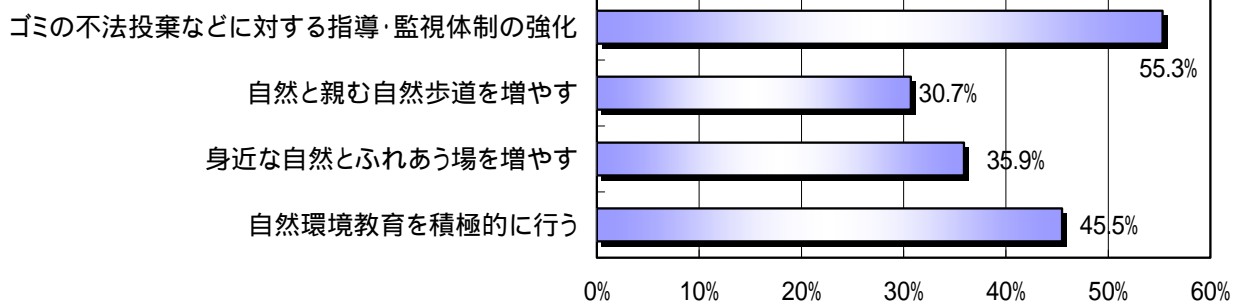
3 - 6 環境を大切にするという気持ちをもっと深めてもらうための方法

設問 町民一人一人に、環境を大切にするという気持ちをもっと深めてもらうためには、どのような方法が良いと思いますか

町民と中高生に対し、環境を大切にすることを深めるための方法について質問した。

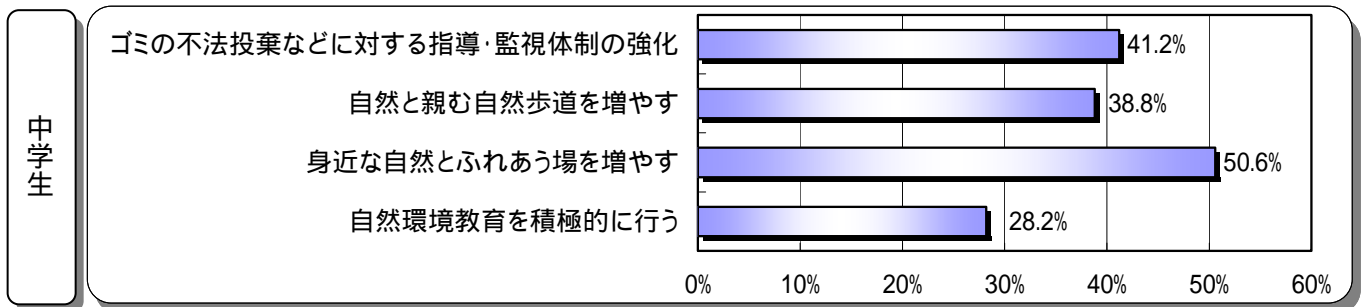
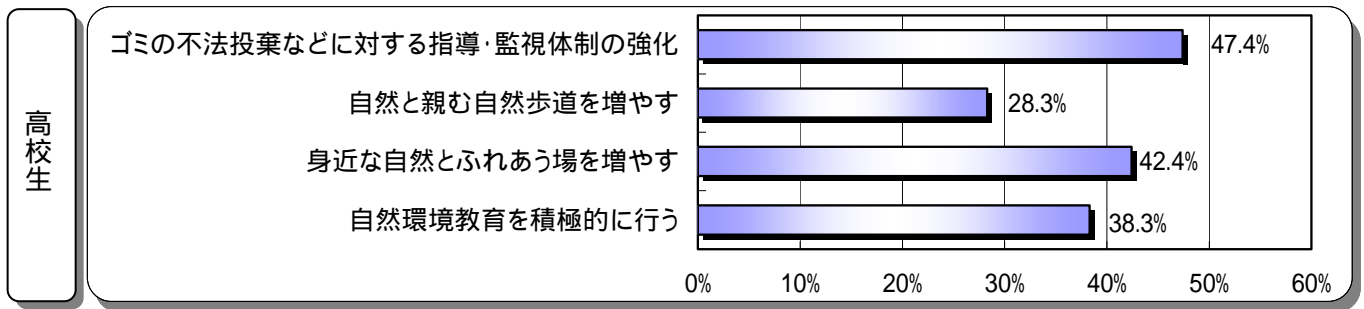
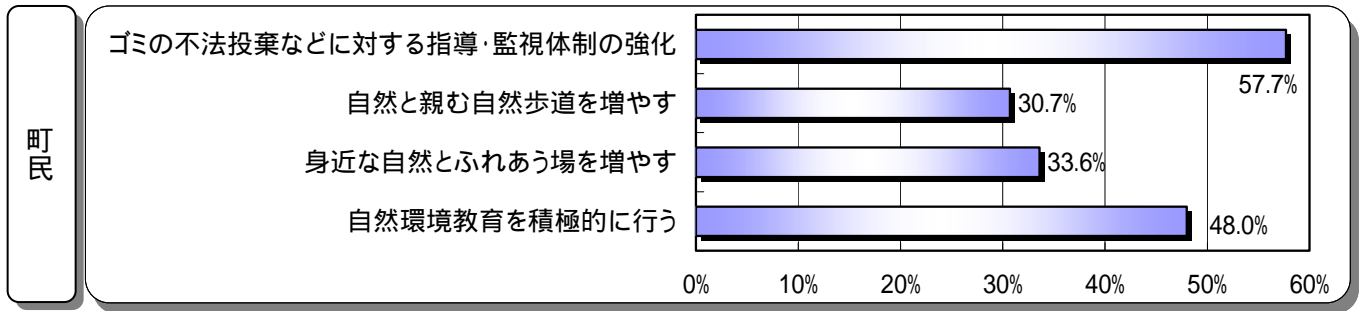
選択肢
1. 学校・職場などで自然環境教育を積極的に行う
2. 身近な自然とふれあう場を増やす
3. 自然と親しみながら歩く自然歩道を増やす
4. 自然について知識を深めるための施設を増やす
5. 町公報やチラシで自然保護の重要性を訴える
6. 空き缶の投げ捨てやゴミの不法投棄など、自然を荒らさないように指導、監視体制を強める
7. 自然観察会や探鳥会、自然歩道を歩く会などの行事を増やす
8. 自然保護活動への参加の場や機会を増やす
9. その他
10. わからない

<全体（町民、高校生、中学）>



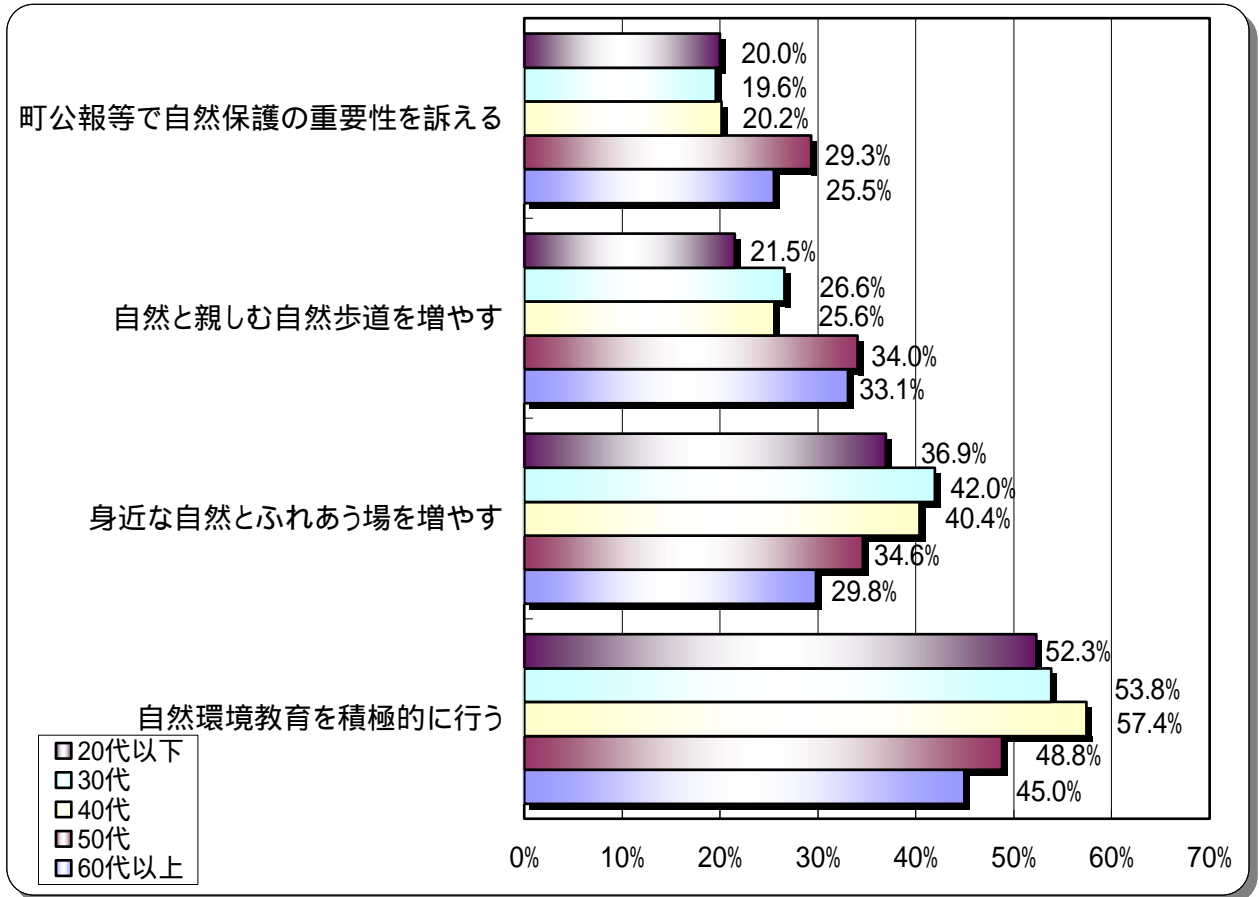
- ・ 「ゴミ不法投棄対策」「自然とのふれあいの場の増加」「自然環境教育」が環境を大切にすることを深めるために有効であると考えられている
- ・ 「3 - 2 自然や環境を守るために生活や家族の仕事に規制がかかっても良いか」において“規制”を受け入れる傾向を示しており、この場合の“規制”の中に『ゴミ不法投棄に対する規制』も含まれていると考えられる

<回答者群による傾向の違い>



- ・ 町民、高校生は「ゴミ不法投棄対策」といった意見が多いが、中学生においては「自然とのふれあいの場を増やす」といった意見が多く挙げられた

<年齢別クロス集計(町民)>



- ・ ここでは、年齢ごとの差が表れた項目について示した
- ・ 「自然と親しむ自然歩道を増やす」「町公報等で自然保護の重要性を訴える」については、年齢層が高くなるほど比較的回答が高い傾向にある
- ・ 「身近な自然とふれあう場を増やす」「自然教育を積極的に行う」については、年齢層が低くなるほど比較的回答が高い傾向にある